

平成30年度第1回笛吹市芦川町地域審議会会議録

開催日時

平成30年6月6日（金）午後6時30分～

開催場所

芦川支所 2階会議室

出席者

- ・地域審議委員
原委員、丸山委員、渡辺委員、山本委員、霜村(武)委員、芦澤(孝)委員、藤間委員、霜村(守)委員、市川委員、芦澤(義)委員、宮川(正)委員 計11名
- ・山下市長
- ・小宮山産業観光部長、小宮山観光商工課長、竜沢観光商工課観光担当L、河住芦川小校長
- ・事務局 霜村支所長、丸山地域住民担当L、市川・梶原・石田・丸山地域住民担当

欠席者

霜村(信)委員、宮川(武)委員 計2名

傍聴人 なし

次第（進行：事務局担当L）

1. 開会（支所長）

2. 委嘱状交付

- ・市長より委嘱状を交付（6名）

3. 市長あいさつ

今日はいくつかお話することがある。議題にもある新道峠については、いよいよ絵が描ける状態になってきたので、このあとお話をしたいと思う。

また、芦川小学校の特認校については、学校は地域の活力の1つである。単に学校を廃止（消す）することは簡単なことである。今まで学校の存続のために努力されてきた訳であるが、特認校になったからといって人（児童）が入ってくる保証はどこにもない。ただ、地域の皆さんが学校を残そうと市外からでも良いからこの芦川小学校を存続しようとする地域の盛り上がりなどが必要になってくると思う。ただ特認校という看板を掲げただけではまったく意味がない。地域でこの学校を守っていただく取組みをしていただきたいと思いますので、その辺を頭において御意見等いただければと思う。

また、第2次総合計画の冊子もできたので、皆さんに見ていただき、御意見など頂ければと思う。

これから1年間皆様方には御理解、御協力を賜るがよろしくお願ひし、私からのごあいさつとさせていただきます。

4. 役員選出

- ・事務局案として、会長に原和美委員、副会長に山本真委員を提案。

- ・全委員より承認を得る。

5. あいさつ

- ・会長よりあいさつ
- ・副会長よりあいさつ

6. 議 事（笛吹市地域審議会条例第7条4項により会長が議長）

(1) 新道峠及び周辺整備事業について

産業観光部長、観光商工課長から説明

(会長)

ただいまの説明に対し、質問、意見等があったらお願いしたい。

(委員)

平成29年度は事前協議の話があったが、基本計画内容でほぼ決まってしまうのか。それと、駐車場と進入路の改良はどの程度を予定しているのか。

(観光商工課長)

平成29年度の基本計画については、この事業を進める段階で事前に関係する機関や条例規則などを調べ、かつ、この新道峠付近は国が指定している国定公園でもあることから事前調査が必要であり、基本計画を元に関係機関等にも協議を行った。決してこの地元芦川町を無視した訳ではないし、今夜初めて地元の皆様方にこの新道峠の整備事業の概要を説明することができた訳だが、事前段階でこの事業を進めることが出来なければここでの説明はない。

アクセスについては、今の道路を活用し、バスなどで今のすずらん群生地の大型駐車場付近から新道峠の駐車場までをピストン送迎するような内容で予定している。

(委員)

上芦川の三叉路付近からすずらん群生地へ向かうためにお祭り期間中、そのあとも林道を帰路として交通整備員を配置した訳だが、ここまでの区間の市道の拡張整備を考えてもらいたい。幅員が狭く、すれ違いが出来ないため整備を考えてほしい。

(市長)

調べさせてほしい。

ある程度観光客を乗せたバスが多く来ているので、道路の拡張整備を進める必要もある。この新道峠にも多くの方に来ていただき、下から富士山を眺望するのではなく、上から眺望してもらい、そのすばらしさを知ってもらいたいと思う。とにかく来てもらうこと。駐車場の整備、それにピストンのバス、それらを踏まえて総合的に考えて行きたいと思う。

(委員)

地権者との協議を進めながら行うとのことだが、駐車場を広めに整備してほしい。稜線より笛吹側は内側（国定公園の区域外）であれば広めに整備できると思われる。

(市長)

いずれにしても駐車場も少し斜めになっているので、その辺の整備もある程度トータルでやっていかななくてはならないのかなと思う。

(委員)

看板等も新たに整備する段階で海外の人にもわかるような看板を設置してほしい。あと、駐車場から上る歩道の半分（前半）が特に勾配がきついため大変なので、多少歩く距離が長くなるが、勾配をゆるくした歩道整備をお願いしたい。

(市長)

星野リゾートを見に行ったが、あそこは下が宿泊施設で、上の方でキャンプファイヤーなどをするために、階段を歩いて行く訳だが、30段ごとに意図的にたまり場が整備されていた。これも人を飽きさせない工夫である。この辺も踏まえ検討させていただきたいと思う。

(委員)

駐車場は今5台ほどしか車が止められないが。

(市長)

上の林道最終地点にある駐車場は整備しない。そのためバスでピストン送迎をする予定である。

(委員)

その件はわかった。立木の伐採についてだが、遊歩道を整備するのにあたり、国定公園の指定地であるが大丈夫なのか。見通しはあるのか。

(市長)

当該地の国定公園は第3種に分類分けされ、一番程度の低いランクであり、県の許可があれば立木の伐採は出来るエリアである。ただし、環境庁の箱根管理事務所の許可を得たうえでの話になるが、いずれにしても、今後は早急に許可を得たうえ、次の対応を進めていく予定である。

(委員)

先ほど私が質問したのは、新道峠の下の駐車場を広げられないのかと聞いたのだが。

(市長)

下の駐車場は広げない。あくまでもバスで林道を通り最終地点の駐車場までバス送迎をする。送迎時間等を設定し、営業時間外はクローズ（車両進入禁止）にする。

(委員)

写真家などは時間に関係なく、夜でも早朝でも入って来くるがその辺の対応は。

(市長)

個人が歩いて行く分には構わない。また、この先の計画は想定ではあるが、業者に指定管理委託し、夏場は朝8時から5時頃まで送迎し、それ以外の時間帯はクローズ（車両進入禁止）とし、冬場は12月から4月までは完全に冬期閉鎖するような基準にしていく予定である。市の職員が直接関わることはしない。イメージとすれば送迎バスの利用料金を100円程度いただく予定である。

(委員)

せっかく作るのであれば、2度3度来たいような施設をぜひとも作っていただきたいと思う。

(市長)

わかりました。

(会長)

他に何か質問、意見等はないか。なければ（1）の議題については以上で終了としたい。

(2) 芦川小特認校推奨について

芦川小学校校長、芦川小PTA会長より説明

(会長)

只今の説明に対し、皆様からの質疑をお願いしたい。

(委員)

もちろん学校は大切であり、この特認校を認定してもらっても特色が無いと子供が来てくれないと思われる。例えば、芦川小学校では英語を教えていただけるとか何か特別なことを学べるようなことが必要だと思う。

ただ、キツイことをいうが、芦川小学校を卒業しても中学校は笛吹市内の中学に進まず、富士河口湖町の中学校へ通わせる場合もあるが、せっかく市では送迎のスクールバスまで用意しているにもかかわらず、そのような行為が行われているとあまり良いイメージに結び付かないと思われる。

(市長)

その件についても承知しているが、ただこの特認校の認定をして、受け入れますと看板を掲げて、簡単に子供が入るかどうかは難しいと思う。地域みんなの力を借りて特色ある独特の学校にしておかないとダメだと思う。

今、校長先生とPTA会長から特認校の話を投げかけられた訳だが、ここで結論は出せないと思うので、持ち帰って十分検討され協議していただきたいと思う。

もちろん地域にとっても笛吹市にとっても大きな問題である。ただ、安易に学校を閉じてしまうのは簡単である。人数が少ないからもう廃止。お金が掛り過ぎるからスクールバスを出すので、市内の下小学校へ登校して下さいと言ってしまうと簡単に解決してしまうと思う。ただ、それを行う前に出来るだけの打開策を講じてやるだけのことをやってみよう。地域の皆さんが知恵を絞って特色のあるものを出していただき、芦川小学校を特認校に推奨する方向性を見出していただければと思う。

(会長)

他に何か意見等はないか。先ほど市長からも話しがあったが、とにかく、地域の皆さんが一体となり、この芦川小学校の存続に関わる大きな問題でもあるので、特認校に認定してもらい、かつ、1人でも多くの子どもが芦川小学校に入ってくれるような特色ある内容を考えていただき、この地域審議会でも今後協力していくことでよろしいか。

全員異議なし

(3) その他

(会長)

(3) その他で何か意見等はあるか。

(委員)

県道の両脇にある木々の枝が生茂っており、通行の妨げになっているので、枝を切ってもらえないか。

(市長)

県の峡東建設事務所へ連絡しておく。

7. その他

(事務局)

7のその他だが、何か意見等はあるか。無いようであれば会を閉じたいと思う。

8. 閉会 (事務局)

互礼を交わし終了 (午後7時35分)